

七月三十一日は愛宕神社の千日まいりです。愛宕山にのぼったことはありますか？高さ九二四メートルで、八四八メートルの比えい山よりも高い山です。てっぺんにある愛宕神社のおまつりで、この日にお参りすれば一回でも千日お参りしたのと同じご利益があると信じられ、たくさんの人でにぎわいます。

もともと、愛宕神社は白雲寺というお寺とセットで、勝軍地蔵というおじぞうさまがまつられていました。戦に勝たせてもらえるというので戦国武将に大人気でした。

織田信長を本能寺でうつ前に、明智光秀がのぼったことはよく知られています。伊達政宗も家来をおまいりに行かせています。

ところが、江戸時代になると徳川家が世の中を治め、戦そのものがなくなります。そうするとおまいりの人が減ってしまふので、「火よけ」に、よくきくご利益があるとみなさんにつたえたのです。

「三才までにのぼると一生火事にあわない」とか「お札を台所にはれば火事よけになる」といって、京の町中で月参りをするようになりました。

千日参りならではのあいさつが「おのぼりやす」「おくだりやす」です。のぼる人は「おくだりやす」と下つてくる人に声をかけ、下る人はのぼってくる人に「おのぼりやす」と声をかけます。むかしからあるあいさつなのですね。今年はコロナウイルスの関係で、日程・行事が変更になっているようです。確認してくださいね。音読サイン↓

① 何の話でしょう？

(まいり)

② 愛宕山は比叡山より何メートル高いのですか。

③ この日はなぜこの山がにぎわうのですか。

④ 明智光秀が山頂で祈った内容はどんなことですか？

⑤ ご利益を何と読みますか？

() () () () () () () () () ()

⑥ 戦に勝たせてくれると信じられた仏様は？

⑦ 火よけによくきくと広められたのは何時代？

⑧ のぼる人はくだる人になんと声をかけますか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

- () () () () () () () () () ()
- () () () () () () () () () ()
- () () () () () () () () () ()
- () () () () () () () () () ()

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。
